

2025年11月29日 新横浜公園の生きもの博士になろう！2025
第5回「水辺の野鳥観察会&クリスマスリース作り」を開催しました。

鶴見川多目的遊水地として、水と緑が豊かな新横浜公園には、多種多様な生きものが生息しています。生きものを好きになり、理解を深めていただく機会として、今年度も「新横浜公園の生きもの博士になろう！2025」（協賛：株式会社春秋商事）を開催しています。

第5回は、野鳥観察とクリスマスリース作りを行いました。講師は、NPO法人鶴見川流域ネットワーキングさんです。

第2レストハウスに集合し、双眼鏡の調整をしてから観察スタート。歩き始めて間もなく姿を現してくれたのは、白黒模様が素敵なハクセキレイでした。その後、バラの実の採集ポイントに到着。リースに赤が入ると映えて、いい感じに仕上がります。柄を少し長めにとつて、ハサミで採集しました。



ハクセキレイ

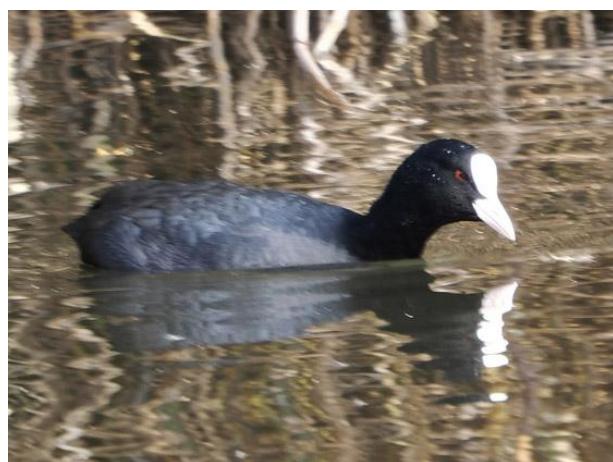


工作に使うバラの実を採集

大池に出て、水辺の様子を見渡すと、オオバンやカルガモ、アオサギを発見。アオサギは、何か獲物を見つけたのか、蛇かごの上から水面の方をじっと凝視していました。対岸の水辺に生えている植物の根元には、コガモやハシビロガモが点々と見え、休息中のようにでした。



観察の様子



白い額と嘴が特徴のオオバン



カルガモ



水面をにらむアオサギ

いったん、大池を離れて水路の方へ、モズのはやにえ観察に向かいます。途中、シラカシの木を通ると、地面にたくさんのドングリが落ちており、急遽ドングリ拾いが始まりました。縞々のぼうしがかわいい小さなドングリ。ついもうちょっとだけと拾ってしまい、止め時が分からなくなってしまいますね。

水路に生えているクワの木に到着。ここにはやにえがあるのですが、まずはみなさんに探してもらいました。はやにえにされていたのは、ツチイナゴ。トノサマバッタほどの大きさで成虫越冬するバッタです。本当に器用に刺すものですね。（翌日になると、モズが食べたのか、頭だけが残っていました。）



ドングリ拾い



モズのはやにえ探し



はやにえにされたツチイナゴ

大池に戻って、水辺の観察再開です。先ほどは、休息している姿しか見ることができなかったコガモとハシビロガモ。ここでは水面を泳いでおり、ホシハジロ、キンクロハジロ、オカヨシガモ、ミコアイサなど他の冬鳥のカモの仲間も見ることができました。園地のクヌギのてっぺんには、スズメよりも少し大きめの鳥が1羽。がっしりした嘴、喉は黒くひげが生えているように見えるシメでした。最後の観察ポイントの突堤では、カワセミも無事に見ることができました。2時間ほどで19種の野鳥を観察することができました。



コガモ（左）、ホシハジロ（右）



キンクロハジロ



ミコアイサ



シメ



観察した鳥を確認

後半は、クリスマスリース作りです。バラの実の他にも、事前に公園内で採集していたものも使って作りました。リースの土台は、場所によって葉の厚みに違いがあるため、はじめにどこを上にして、どのように実を配置するかイメージづくりから。だいたい決まったところで、ワイヤーなどを使って飾り付けていきました。綿の実も公園内で育てたもので、ふわふわした質感のものが入ると、アクセントになっていいですね。出来上がったリースは、みなさんどれも魅力的で素敵でした！



公園の木の実などを使ってクリスマスリース作り



リース作りの様子







素敵なリースができました！

今年度の新横浜公園の生きもの博士になろう！は終了となりました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。このイベントは、日頃から新横浜公園・日産スタジアムにご協力いただいている株式会社春秋商事様にご協賛いただきました。誠にありがとうございました。